

ふじえだ ^{イクジィ} 育G 応援プロジェクト その29

核家族化や女性の社会進出、地域社会の希薄化などにより、孤立してしまう「子育て」。
 そうした中、今、期待されているのがじいじ・ばあばが持つ「祖父母力」です。
 このコーナーでは「孫育て」という視点から、皆さんに役立つ情報をお届けします。

※「育G」とは、育児に積極的な「Grandfather」「Grandmother」の略称です

育Gへ孫育て アドバイス

保育園、共働き家庭のサポート

4月からお孫さんが保育園に入園する方も、いらっしゃるかと思います。

慣らし保育期間が長くなったとはいえ、最初は保育園へ行ったかと思うと、「熱が出ました。お迎えをお願いします」とよく連絡があるものです。子どもの発熱などの病気は、予測がつかないもの。祖父母がサポートできるのであれば、パパママは助かることでしょう。

ただし、病院の受診は、祖父母ではなく、パパママに行っ

てもらいましょう。どうしても無理な場合は、2～3日前からの様子のメモをもらうこと。

また、娘や息子、孫のために、できる限りはと思っている方もいるかもしれませんが、基本はパパママが自分たちで行い、足りないところをサポートなど、やり過ぎ、頼られ過ぎには注意しましょう。

アドバイザー

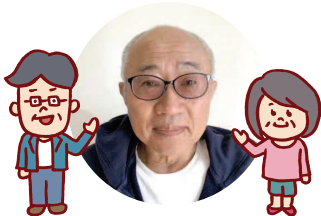
ぼうだ あきこ

NPO法人孫育て・ニッポン理事長

自身の出産後、子どもや家庭の状況にあわせて、育児雑誌や新聞等への執筆、育児サイトの立ち上げ・運営、企画会社などで活躍。2011年NPO法人孫育て・ニッポンを設立。全国各地で「孫育て講座」や行政との共同プロジェクトを行う。また、産後ケア、多世代交流を中心としたまちづくりなどの調査、研究に携わる。孫一人。

地元の育G リレーコラム

手を繋いで一緒に散歩したい



今月の育G

増田 慶司さん (67歳)

職業: 無職

住所: 市内稲川

孫 : 男の子(1歳)

待望した初孫との対面の時は、思わず感動の涙を流してしまいました。生後2ヶ月間は一緒に生活しましたが、あまり夜泣きもせずとてもいい子で、とにかく可愛がりました。あまりに可愛がりすぎて我が家の愛犬がやきもちを焼いてしまうほどでした。離れて暮らすようになってからも、月1回は会えますし、画像共有アプリやビデオ通話アプリで毎日のようにコミュニケーションをとっています。私自身がヒザを患っており、現在はリハビリ中なのですが、「孫と手を繋いで一緒に散歩する」ことが当面の目標です。「他人に迷惑を掛けずに普通の人生を送ってほしい」と心から願っています。

自慢の孫フォト



袖稀(ゆずき)くん

藤枝市からの子育て情報



保育や教育の現場で働きませんか

保育や幼児教育の現場を支える保育士・幼稚園教諭のほか、放課後児童クラブの指導員を募集しています。本市が運営する人材バンク「enjobふじえだ」には、各施設の求人情報を掲載。ぜひ、人材バンクにご登録ください。

※採用の手続きなど、詳しくは、「enjobふじえだ」ホームページをご覧ください。

enjobふじえだ
webページ



感想募集中



こちらのQRコードへ
アクセスしご覧いただいた
感想をお寄せください♪